

# 2022年度 指定製品目標設定案

## 候補機器のご紹介

2023年3月24日

# 1. 店舗・事務所用エアコンディショナー 「床置型の室内機が接続されるもの」

①床置型等除く、法定冷凍能力3トン未満のもの

・・・2020年度 目標GWP 750(目標設定済)

②床置型等除く、法定冷凍能力3トン以上のもの

・・・2023年度 目標GWP 750 (目標設定済)

③床置型の室内機が接続されるもの

・・・2024年度 目標GWP 750 (今回目標設定案)

いずれも a\_ターボ冷凍機    b\_空調用チリングユニット  
 d\_ガスエンジンヒートポンプエアコンディショナー

c\_ビル用マルチエアコンディショナー  
 e\_設備用エアコンディショナーを除く

室内機 設置例

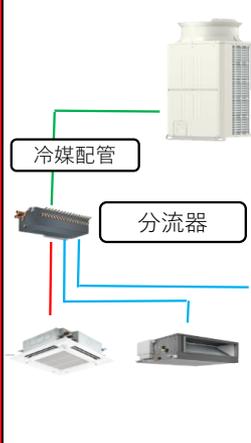
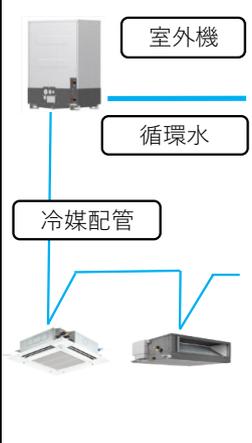
接続される室外機例



ダイキン工業(株)様 HPより転載

# 2. ビル用マルチエアコン

- ①ビル用マルチエアコンディショナー (新設及び冷媒配管一式の更新を伴うものに限りに、冷暖同時運転型や寒冷地用等を除く) ...2025年度 目標GWP 750(前回設定)
- ②ビル用マルチエアコンディショナー (新設及び冷媒配管一式の更新を伴うものに限りに、上記を除く) ...2027年度 目標GWP 750(今回設定案)

機種系列		新設用					更新用 (既設冷媒配管流用)
		冷暖切替	冷暖フリー	寒冷地	水冷	氷蓄熱	
概要	外観イメージ						
	特徴	室外機の運転モード(冷房・暖房等)で、室内機が運転するタイプ。この為、同一冷媒配管系統の室内機は、冷房または暖房のいずれか切替の運転になる。	室外機の運転モードにかかわらず、室内機が運転(冷房・暖房)するタイプ。この為、冷媒配管系統上で、冷媒を分流する為、機器の設置が必要。	一般のヒートポンプ式エアコンは、低外気温時に暖房能力が低下する。この能力低下を、一定の低外気温度まで防止する為、室外機の冷媒回路に変更を加えたタイプ。	一般的な「空気」を熱源とするヒートポンプ式エアコンと異なり、「水」を熱源とするタイプ。	深夜電力を使用して、冷却熱源を作り、昼にそれを利用した冷房で電力消費を低減するタイプ。冷却熱源を蓄える為、蓄熱槽が必要。	既設冷媒配管内の異物(冷凍機油・水分等)を回収する機能を室外機に備えることで、更新時に既設冷媒配管の流用を可能にしたタイプ。
		前回設定	今回設定(案)				

## 一体型の定置式冷凍冷蔵ユニットの例

[天置き型]



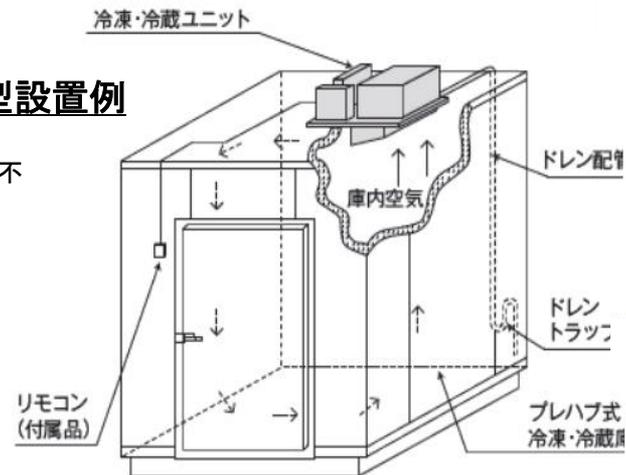
[壁貫型]

天井が低い場所などプレハブの側板パネルへ取付けるタイプ

[パナソニック(株)様 より提供]

## 空冷式一体型設置例

現地での配管施工不  
必要



日立グローバルライフソリューションズ(株)様 HPより転載

## 別置型のコンデンシングユニットの例

空冷式:コンプレッサユニット・凝縮器同一筐体の場合

現地施工配管



[パナソニック(株)様 より提供]

空冷式:コンプレッサユニット・凝縮器別筐体の場合

現地施工配管



### 3. コンデンシングユニット及び定置式冷凍冷蔵ユニット (別置型コンデンシングユニットにおける例)

1. 5kW以下の例	1. 5kW超の例
<p data-bbox="401 482 641 536">空冷タイプ</p>  <p data-bbox="566 925 890 951">[パナソニック(株)様 より提供]</p>	<p data-bbox="1083 458 1323 512">空冷タイプ</p>  <p data-bbox="1537 701 1862 726">[パナソニック(株)様 より提供]</p> <p data-bbox="1083 886 1323 941">水冷タイプ</p>  <p data-bbox="1532 1175 1856 1200">[パナソニック(株)様 より提供]</p>
<p data-bbox="266 1236 819 1290">冷媒の平均充填量:約3kg</p>	<p data-bbox="1147 1236 1734 1290">冷媒の平均充填量:約30kg</p>